

# さんもく外構用防腐処理木材取扱い説明書

さんもく工業株式会社  
岡山市南区海岸通2-6-3  
TEL086-262-0137  
FAX086-262-0130

## 加圧注入方式防腐処理木材について

水で希釈した防腐剤を、木材内部に加圧ポンプを使って強制的に注入します。  
その為、寸法が膨らみ含水率が上昇しますが、自然乾燥と共に徐々に戻ります。  
届いた品物の寸法が膨張等で若干不揃いなのは仕様ですので御理解下さい。  
**施工前に検品し、仕分け作業・留付けピッチ調整を実施して下さい。**

## 防腐処理

薬剤名 ペンタキュアニューBM 加圧注入防腐処理(AAC)  
※処理木材は無色となり、防腐剤による着色はありません。

## 安全性

- ・揮発性有機化合物(VOC)は成分中に含まれておりません。
- ・各種公園遊具・学校等の公共施設にも同仕様の製品納入実績があります。

## 取扱い方法

- ・防腐処理を施していない通常の木材と同様の扱いが可能ですが、防腐効果を最大限発揮させる為、処理木材に製材を掛ける等の大幅な加工はお控え下さい。切断面では素地の部分が出てくる為、タッチアップを施す等の工夫をして下さい。(木材保護塗料塗布若しくは現場処理用防腐薬剤使用 撥水剤入り品推奨)全周囲を2回塗りするのが理想ですが、状況によって適時判断をお願いします。
- ・留め付けに使用する金物類はステンレス等耐食性のある資材を推奨します。
- ・防腐処理木材は木材を腐朽させる腐朽菌やシロアリ等の食害虫に対する耐性を持ちますが、材表面を汚すカビが生える事がありますので御注意下さい。
- ・防腐処理木材と言えども気温・降雨・紫外線等に因り劣化しますので、水終いに配慮する等、施工上の工夫と定期的なメンテナンスが必要です。
- ・現場施工後、数日～数週間の間乾燥割れが入って来ます。これは木材の特性で、居心地の良い形になるまで変化して行き、通常一カ月程度で納まります。その後頃合いを見計らって木材保護塗料を御使用頂くと、より長く美観と耐久性を保ちます。
- ・残材等の廃棄は通常の木材と同様に処理が可能です。

## メンテナンスについて

- ・現地使用状況にもよりますが、数年毎の保護塗装重ね塗りor塗り替えを推奨します。
- ・各種木材保護塗料との相性は特に有りませんので、お好みの商品をお使い頂けますが、施工性等を総合的に考えた場合、溶剤系・浸透型塗料を推奨します。
- ・表面の夏目・冬目が剥離して来る場合があります。その場合はサンダー等で表面を均した後、木材保護塗料をお使い下さい。

例 1. 木材保護塗料 和信科学工業株式会社 ガードラックPRO 各色  
定番と言えるロングセラー商品で、施工性・メンテナンス性も良好です。  
※詳しい取扱い説明についてはメーカーカタログ等を参照して下さい。

例 2. 現場塗布用防腐薬剤 (株)サイエンス サンプルザーOGRクリアスプレー  
背切断面等の現場加工部位や地際部等の防腐性能UPIに使えます。

上記内容を参考にお使い下さい。何か御不明な点等御座いましたらお問い合わせ下さい。